



秋の気配が感じられる今日この頃ですが、いまだコロナ禍は収束する気配すらありません。こんな時は、ドラえもん「どこでもドア」を使ってコロナ禍のない世界に旅したいものですね。ちなみに人気者「ドラえもん」の誕生日は、2112年9月3日です。いつの日か秘密道具も現実のものになる日がやってくるのでしょうか。

令和2年度 第4号 若松原中学校図書室



こんな所がおすすめです!

世の中の色々な物事を子ども目線で見たりしていて、面白い発想が多い本です。基本的に文字は少ないのですが、一つ一つの言葉の意味が深いものがあり、色々考えさせられます。(3年女子)

「思わず考えちゃう」 新潮社

大人も子どもも、それ以外も、「考えすぎちゃう」すべての人へ——。「自由って何?」「あれは人生の無駄?」「明日、すごいやる気を出す方法」等々。読むとクスツとしてホツとしてちょっとイラッとする、スケッチ解説エッセイ! 新感覚。楽しくて、グッとくるイラスト、100点以上、収録!



「ものは言いよう」 白泉社

絵本創作の秘密がすべて詰まったインタビュー&イラスト集。ユニークな「ヨシタケシンスケのしくみ」「ヨシタケシンスケができるまで」「ヨシタケシンスケの一日」などのイラストや、スケッチ、アトリエ、本棚、お気に入りの本などの写真も満載。ファンはもちろん、絵本を好きな人も楽しめる保存版の1冊です。



「せまいぞドキドキ」 講談社

せまいところに入ると無性に興奮するヨシタケさんが、「狭所マニア」の生態を克明に描きます。「宇宙服」「エレベーター」「押し入れ」etc.



「あるかしら書店」 ポプラ社

楽しくて、ワクワクする本です。表紙の裏のいろんな移動型書店の絵は、専門的な書店だったら数が多いことにこだわることもなく、こんなおもしろい移動書店もありかと思えて、楽しい本です。本棚に並ぶ本がそのままもくじになっているなど、遊び心がたくさんあります。「本屋さんってどういうところ?」というのが、なんて素敵な場所なんだろうと思えてました。本好きな人じゃなくても、楽しく読めて、本の魅力に気付ける本じゃないかなと思います



「世界を平和にするためのささやかな提案」 河出書房新社

「世界を平和にする」ためになにができるのか? 22人が提案する、平和のためのアイデア集です。その中の、ヨシタケシンスケさんの『おもしろいことを考える』では、難しいことを考えたり、真面目なことを議論しなくても、少しだけ世界を平和にする方法なら身近に沢山あると思いました。世界の平和は、一人一人の平和から始まるのかもしれないね。表紙のおもしろい帽子のかぶり方のイラストも必見です。



他にもこのたくさんの本があります。ぜひ、読んでみよう!

芥川賞

首里の馬 高山羽根子 著 新潮社

この島のできる限りの情報が、いつか全世界の真実と接続するように。沖縄の古びた郷土資料館に眠る数多の記録。中学生の頃から資料の整理を手伝っている未名子は、世界の果ての遠く隔たった場所にいるひとたちにオンライン通話でクイズを出題するオペレーターの仕事をしていた。ある台風の夜、幻の宮古馬が庭に迷いこんできて……。



直木賞

少年と犬 馳星周 (著) 文藝春秋

2011年秋、仙台。震災で職を失った和正は、認知症の母とその母を介護する姉の生活を支えようと、犯罪まがいの仕事をしていた。ある日、和正は、コンビニで、ガリガリに痩せた野良犬を拾う。多聞という名らしいその犬は賢く、和正はすぐに魅了された。その後、和正はさらにギャラのいい窃盗団の運転手役の仕事に依頼され、金のために引き受けることに。そして多聞を同行させると仕事はうまくいき、多聞は和正の「守り神」になった。だが、多聞はいつもなぜか南の方角に顔を向けていた。多聞は何を求め、どこに行こうとしているのか……



お知らせ

もうすぐ、後期の購入が予定されています。「こんな作家さんの作品が・・・」「本屋さんで見たあの本が・・・」「図書室にある本のシリーズの最新刊が出た」など本に関することがあったら、どんな事でも結構です。図書室の黒川厚子先生までお願いします。

